



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

全校遠足改め全校クイズ大会実施

校長 山崎 薫

5月21日は、1年生から6年生までを縦割りグループにした班での全校遠足の予定でした。今年度初めての全校行事でしたが、未明からの雨と強風のため中止となってしまいました。今回の行事は、5、6年児童で全校遠足実行委員会を立ち上げ計画を進めてきたため、実行委員の子どもたちにとって残念であったのではと察していたのですが、心配をよそに雨天版もしっかり考えていました。当日2時間目と中休みに「全校クイズ大会」として全校児童をリードしました。本来、俣野公園でのウォークラリーのポイントで出題されるはずであったゲームやミッションを、放送室からテレビ放送で出題しました。全校児童は縦割り班ごとに指定された教室に集まり、テレビに注目して大会が始まりました。

私は今回、放送室に入り、実行委員の子どもたちの活躍に立ち会わせていただきました。その様子を報告します。用意したクイズを大きな画用紙に書き、出題する実行委員の子どもたち。カメラに向かって話すのは難しいようです。少し緊張している様子が伝わってきました。それでも、クイズを出し答えを告げるごとに、発表した児童に仲間が大きな拍手を送り、励ましていました。出題したクイズやミッションに取り組む各教室での声やざわめきが、かすかに反響して放送室まで届きました。自分たちの放送によって教室の全校児童が反応していることが判ると次第にリラックスして上手になってきました。

出題後、2～3分間は教室ではグループごとで話し合いがされているはずですが、実行委員はその時間、ひたすら待っています。同じ時間でも放送室はシーンとしていました。そこで、カメラマンの井戸本先生が、待っている間マイクのスイッチを切る粋な計らいをしてくれました。途端に、放送室内でも安堵の声や歓声が響き、緊張から開放された和やかな雰囲気になったことも印象に残りました。切る前と切った後の姿が実に対照的でした。

最後までクイズ大会を運営し、閉会の挨拶が終わった後の実行委員の子どもたちの達成感あふれる様子がマスク越しでも分かりました。実際に全校を動かす体験をして、自信を高めたことと思います。今までの取組が実を結ぶことができよかったと感じた一日となりました。

子どもたちが主体的に取り組み、達成感や自己有用感を育めるような活動をこれからも多く設定して参りたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

5月の中旬、市内で小2と中3のお子さんが交通事故で命を落とされたという新聞記事が2日連続で掲載されていました。2年生は3時過ぎ。下校時だったそうです。中3生は7時15分過ぎ。部活動の早朝練習に向かうときでしょうか。一瞬の惨事に、本人はもとより、ご家族、同級生らの心情を考えるといたたまれない気持ちでいっぱいになりました。

日頃より、交通安全については学校でも家庭でも繰り返し啓発をしていくことが必要です。先週の朝会でも啓発しました。また、運転マナーを同乗している子どもは見ています。将来、子どもが運転することを見据え、安全運転の手本となるよう、私たち大人も心掛けていきたいと思いました。

パパやめて 運転中の スマホケータイ (某標語コンクールより)